これからの教員に必要なもの
～生徒指導編～

講師：　東洋大学参与
石坂 康倫

想定課題と到達目標

想定課題	到達目標
初任者もしくは初めて担任になったが、生徒指導に不安がある	生徒指導の基本を理解し、安心して指導ができる
生徒指導における生徒との具体的な接し方がわからない	褒め方、叱り方、自己肯定感を高める接し方など、指導の具体的なヒントを得られる

本テキストは有償無償問わず貴校外の第三者に配布することはできません。Copyright © FCE Education Inc. All Rights Reserved.

1 生徒指導をする上での考え方や基本的なスキルについて

2 具体的な指導方法「褒め方、叱り方」について

3 今後求められる生徒指導（自己肯定感を高める接し方）

問い

生徒たちが普段何を考え、どんな悩みを抱えているか
どれくらい知っていますか？

学習のポイント

1. 生徒指導の前提となる考え方
2. 悩みを抱える生徒との接し方
3. 生徒指導を磨くためのスキル

本テキストは有償無償問わず貴校外の第三者に配布することはできません。Copyright © FCE Education Inc. All Rights Reserved.

1. 生徒指導の前提となる考え方

Q1. 生徒指導をする上で、前提となる考え方は何でしょうか？

生徒指導の前提
どの生徒も［　　］を抱えている

▶

この前提を先生方が
知っていることが大切である

2. 悩みを抱える生徒との接し方

Q2-1. 悩みを抱えている生徒との接し方で大事なことは？

Q2-2. 生徒の話を聴く際のポイントはありますか？

（Q2-1）接し方のポイント
• いつもと様子が違う生徒を察知する • 思いやる気持ちをもって話してみる

（Q2-2）聴き方のポイント
生徒の言いたいことを［　　］聴く

本テキストは有償無償問わず貴校外の第三者に配布することはできません。Copyright © FCE Education Inc. All Rights Reserved.

Q3-1. 具体的にどのようなスキルを磨けばよいでしょうか？

Q3-2. 適切な指導や助言をするために何をすべきでしょうか？

（Q3-1）具体的なスキル	（Q3-2）適切な指導〈5つのステップ〉
ー誘導せずに生徒の話を最後まで聴きぬく ーうなずく	1. 何が問題なのか捉える 2. 生徒の発言の信ぴょう性を確かめる 3. 保護者に生徒の状態を知っているか確認する 4. 学年内の先生方と生徒の悩みを共有する 5. 悩みを解消し生徒が安心して登校できる

1.生徒指導をする上での考え方や基本的なスキルについて

まとめ

1. 生徒指導の前提となる考え方
どの生徒も心に悩みを抱えていることを理解する。

2. 悩みを抱える生徒との接し方
いつもと様子が違うことを察知する。そして、思いやりをもって話しかけ、言いたいことを最後まで聴く。

3. 生徒指導を磨くためのスキル（カウンセリング）
誘導せず最後まで話を聴きぬくことに主眼を置いたカウンセリングと、適切な指導や助言を行うための5つの手順

1. 何が問題なのか捉える
2. 生徒の発言の信ぴょう性を確かめる
3. 保護者に生徒の状態を知っているか確認する
4. 学年内の先生方と生徒の悩みを共有する
5. 悩みを解消し生徒が安心して登校できる

本テキストは有償無償問わず貴校外の第三者に配布することはできません。Copyright © FCE Education Inc. All Rights Reserved.

ぜひ考えてみましょう

（問）生徒指導をする上での考え方や基本的なスキルについて、
明日からどのような取り組み・工夫ができるでしょうか？

① 生徒指導の前提となる考え方

② 悩みを抱える生徒との接し方

③ 生徒指導を磨くためのスキル（カウンセリング）

問い

褒める時、叱る時、それぞれ気をつけていること、意識していることは何ですか？

学習のポイント

1. 褒め方について
- ほめることの目的
- 褒め方のポイント

2. 叱り方について
- 「叱る」と「怒る」の違い
- 叱り方のポイント①
- 叱り方のポイント②

本テキストは有償無償問わず貴校外の第三者に配布することはできません。Copyright © FCE Education Inc. All Rights Reserved.

1. 褒め方について

Q1-1. そもそも褒めることの目的は何でしょうか？

Q1-2. 褒め方のポイントは何でしょうか？

（Q1-1）褒める目的

生徒を［　　］ということ

（Q1-2）聴き方のポイント

- 褒めることの意味を理解していること
- ［　　］褒める
- 先生自身の喜びが伝わるように褒める
- 生徒の立場を考える

2. 叱り方について

Q2-1. 「叱る」と「怒る」の違いは何でしょうか？

Q2-2. 叱り方のポイントは何でしょうか？

Q2-3. 叱ってもなかなか改善されない場合はどうしたらいいでしょうか？

（Q2-1）叱ると怒るの違い

【叱る】
- 教育的な意味で使う言葉
- 反省や次の行動を意識して指導をする（指導の一環）

【怒る】
- 感情むき出しで怒鳴るときに使う言葉

（Q2-2）叱り方のポイント①

- ［　　］、形式的に叱らない
- 本気で向き合って叱る
- 叱った後に、必ずフォローする

（Q2-3）叱り方のポイント②

叱られた内容が繰り返されないよう、［　　］指導する

本テキストは有償無償問わず貴校外の第三者に配布することはできません。Copyright © FCE Education Inc. All Rights Reserved.

まとめ

1. 褒め方について

〇褒める目的
→生徒を認めるということ

〇褒め方のポイント
→褒めることの意味を理解していること
→さりげなく褒める
→先生自身の喜びが伝わるように褒める
→生徒の立場を考える

2.具体的な指導方法「褒め方、叱り方」について

まとめ

2. 叱り方について

〇「叱る」と「怒る」の違い
→叱るは教育的な言葉、怒るは感情的な振る舞いを表す言葉

〇叱り方のポイント
→白々しく、形式的に叱らない
→本気で向き合って叱る
→叱った後に、必ずフォローをする
→叱られた内容が繰り返されないよう、粘り強く指導をする

本テキストは有償無償問わず貴校外の第三者に配布することはできません。Copyright © FCE Education Inc. All Rights Reserved.

ぜひ考えてみましょう

（問）「褒め方」や「叱り方」について、明日からどのような
取り組み・工夫ができるでしょうか？

① 褒め方について
（褒めることの意味を理解していること、さりげなく褒めるなど）

② 叱り方について
（本気で向き合って叱る、叱った後に必ずフォローをするなど）

問い

生徒に、自分を肯定する気持ちを持たせるには、
どのような働きかけをしたらいいと思いますか？

学習のポイント

1.指導上のポイント

2.上手くいかない時の対応
（＋α 石坂先生からのメッセージ）

本テキストは有償無償問わず貴校外の第三者に配布することはできません。Copyright © FCE Education Inc. All Rights Reserved.

1.指導上のポイント

Q1. 自己肯定感を高めるためにはどのような指導をしたらよいでしょうか？

指導のポイント
• 「やればできる！」という体験をさせる • [　　]を促すような言動はしない

▶ 自己否定ではなく、
自己肯定感を促す言動をする

2.上手くいかない時の対応

Q2. 自己肯定感を持たせる指導がうまくいかない場合は
どうすればよいでしょうか？

上手くいかない時の対応
• [　　]から学ぶ －場合により授業、HRを見学し真似てみる －同年代の先生同士で話し合う

▶ 人から学ぶ、書籍から学ぶことが
生徒にとってより良い授業を
作り上げる

本テキストは有償無償問わず貴校外の第三者に配布することはできません。Copyright © FCE Education Inc. All Rights Reserved.

トーマス・アルバ・エジソンの言葉

私たちの最大の弱点は、［　　］ことにある。

成功するのに、もっとも確実な方法は、常にもう一回だけ試してみることだ。

まとめ

1. **指導上のポイント**
   - **〇「やればできる！」という体験をさせる**
   - **〇自己否定感を促すような言動はしない**

2. **うまくいかない時の対応**
   - **〇他の先生から学ぶ**
   - →授業・HRを見学し真似る、同年代の先生同士で話し合う

本テキストは有償無償問わず貴校外の第三者に配布することはできません。Copyright © FCE Education Inc. All Rights Reserved.

ぜひ考えてみましょう

（問）自己肯定感を高める接し方について、明日からどのような取り組み・工夫ができるでしょうか？

① 指導上のポイント

（「やればできる！」といった体験、自己否定感を促す言動はしない等）

② うまくいかない時の対応

（他の先生から学ぶ）

本テキストは有償無償問わず貴校外の第三者に配布することはできません。Copyright © FCE Education Inc. All Rights Reserved.